

シニア地域活動イベント 世田谷グループ実績報告

開催日が近づいても十分な打合せが出来ず、11月4日ようやく集まる事が出来たのですが、イベント当日のスタッフは3名で行う事になったことをようやく理解出来た。

具体的なプランの決定もこの日に初めて決定。時間のゆとりのない中、ようやくスタートした。

ところが世田谷グループの参加応募が7名です、と事務局から伝えられてショックを受けた。やむを得ず友人達のネットワークで案内してもらった。アンケートで「友人・知人から聞いて」が多いのはその結果だと思っています。

12月4日(土)紙芝居で知る世田谷の歴史 上馬高齢者集会所

声かけが功を奏して参加者24名になりました。

創作紙芝居が初めての人も多かったですが、演技に引き込まれて楽しまれたようでした。

参加者24名中アンケート回収は17件。皆さんにテーブルの片付け等を手伝ってもらい、けじめのないまま解散したのでアンケート回収率の低下に繋がったと反省しています。希望者9名とスタッフ3名が昼食会場に向かう途中常磐姫の碑(常磐塚)を見学しました。昼食は4名ずつ3テーブルで、それぞれ話は盛り上がっていた。



紙芝居上演風景(ステージから)



紙芝居上演風景



紙芝居上演
小川代表の挨拶



紙芝居上演風景

紙芝居プログラム
さぎ草物語
デザインのちから
夢二の少年山荘
いざ鎌倉へ



出番を待つ紙芝居スタッフ



常磐塚

12月11日(日) 紙芝居から考えるまち歩き 宮の坂区民センター出発

勝光院

代官屋敷

常在寺

勝光院 世田谷城主吉良家の菩提寺。江戸期には家康から御朱印寺領30石を与えられた格式の高い寺で、境内には風格のある庭木も見られる。とくに美しいのは竹林で、竹垣とあいまって品のよい雰囲気をかもし出している。鐘楼の梵鐘は、戦争中応召されたが、錆つぶされず、10年ほど前に元の姿で無事戻ってきた。(せたがや百景)

代官屋敷 世田谷区民であれば一度は足を運んだ事があるはずです。

今回は学芸員の方に解説していただきました。とても良かったとの声が多く聞かれました。

常在寺と常盤姫は弦巻の地に、常在寺の前身となる堂宇を建立した。吉良氏は禅宗とのかかわりが深く、弘徳院(後の豪徳寺)や龍鳳寺(後の勝光院)は再興時に曹洞宗に宗旨を変えていた。そのかたわら、他宗派の寺院にも手厚い庇護を与えていた。しかし、頼康は革新的な宗教思想を有する法華経を好んでいなかった。常盤姫が法華経への傾倒を深めていくにつれ、頼康は彼女への不信感を募らせていくことになった。

常盤姫は頼康と法華経との板挟みになったが、法華経への信心を捨てることができなかった。頼康は激怒して、常盤姫の捕縛を命じた。常盤姫は何とか城を逃れたものの、追っ手に捕らわれる前に命を絶つ決心を固めた。彼女は守り本尊の鬼子母神像を常在寺の井戸に投入し、その後若林の常盤塚の付近で自害したと伝わる。

後に寺の僧侶が井戸からを引き上げて鬼子母神堂に安置した。その後、この井戸の水は火傷に効くとの評判が広まり昭和15年頃まで水を求めて遠方からくる人々がいた。



勝光院



本日の注意説明(宮の坂区民センター)



代官屋敷
学芸委員の解説を聞きながら



常在寺 地下に整備されたきれいな庭
気持ちよく使わせていただきました。



常在寺 地下ロビーをお借りしてアンケートを記入

希望者で昼食会スタッフ含め14名参加。